

令和4年11月29日

日立理科クラブ通信



No. 186

日立理科クラブ

第4回ひたちレーシングカー大会 主催 日立理科クラブ

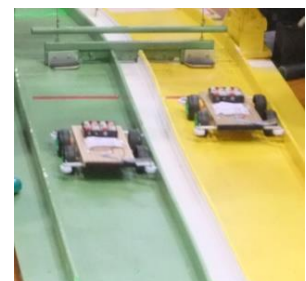
11月27日(日)、日立製作所会瀬体育館で行われた、第4回ひたちレーシングカー大会を紹介します。体育館のメイン会場は、地域のバドミントン大会が開催されていて、サブ会場での開催となりましたが、サーキット近くに応援席が設置されているため、迫力のあるレースが身近で観戦できるメリットがありました。この大会には、鈴縫工業株式会社の地域の青少年の健やかな成長を応援する「おひさまの恵みプロジェクト」として協賛いただいています。また、来賓の皆様を代表し、日上市教育委員会の松本教育部長から、選手への激励の言葉があり、大会がスタートしました。



競技はタイムトライアル方式とし、1周 25mのサーキットを3周×2回(内側と外側のレーン各1回)行い、合計タイムで順位を決定します。今回の参加者は25名(未就学児1名、小学生24名)です。



テスト走行を行ってからの本番です。テスト走行で不具合が起きたレーシングカーは、素早く修理班の担当が修理するなど、全員のタイムトライアルができるように、バックアップ体制を万全にして



行われています。スタートの合図で飛び出したレーシングカー、すごいスピードで走る様子に、会場から「うわー速い!」と、歓声上がるほどでした。

日立理科クラブでは、水火箭大会、レーシングカー大会、ドローン教室など、子どもたちの興味・関心のあるモノづくりを小学校段階から体験してほしいと、コロナ禍の中ではありますが、開催しています。自分で作ったレーシングカーの走行に、子ども



たちの表情はとても真剣です。科学の楽しさと競技としての緊張感を味わうことのできる体験は、きっとこれからの成長にとって大きな影響を与えることでしょう。優勝した水木小3年の岩村君、司会者の「速く走れる工夫は何かありますか。」という質問に、「タイヤの軸にグリスを塗って摩擦を小さくしました。」と答えていました。それ以外にも、きっと試行錯誤の工夫をしたことと思います。小さな未来の技術者にエールを送りたいです。

	1回目の記録	2回目の記録	合計記録
優勝 岩村 英 (水木小3年)	23.86 秒	23.59 秒	47.45 秒
準優勝 平倉 久実 (宮田小5年)	24.87 秒	24.25 秒	49.12 秒
3位 蛭田 心結 (豊浦小3年)	24.92 秒	25.79 秒	50.71 秒
4位 栗原 涼 (会瀬小3年)	25.30 秒	25.86 秒	51.16 秒
5位 萩庭 漣士 (大みか小2年)	25.89 秒	26.29 秒	52.18 秒
6位 池口 怜亮 (会瀬小4年)	25.69 秒	26.72 秒	52.41 秒
優勝 (日上市教育長賞) 準優勝 (鈴縫工業賞) 3位 (日立理科クラブ賞)			